

# 適性型 I 表現力

注 意

- 1 問題は **1** のみで、5 ページにわたって印刷してあります。
- 2 試験時間は四十分です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 答えは全て解答用紙に明確に記入すること。
- 5 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えを書きなさい。
- 6 受験番号を解答用紙の決められたらんに記入しなさい。

1 文章1と文章2を読み、あとの問題に答えなさい。

(\*印のついている言葉には、本文のあとに「注」があります。)

文章1

2020年7月1日より日本全国でプラスチック製買物袋、いわゆるレジ袋の有料化が始まりました。当初私は無料のレジ袋に慣れていたので、ついついマイバッグを忘れてしまい\*別途お金を支払ってレジ袋をもらって商品を持ち帰っていました。最近では毎日持参する癖がつき苦ではなくなりました。また、カフェやレストランで提供されるストローもプラスチック製のものが減り、紙製や竹製、木製などのものに替わってきていることも実感できるようになってきました。そして2022年4月からは法的な罰則等はないものの、ホテルでもらえる歯ブラシなどのプラスチックを使用したアメニティの配布をできる限り控えることが法律化されました。

なぜここまでプラスチックの使用を控える動きが進められるようになったのか。それはこの本の本題であるSDGsです。SDGsは、2015年の国連サミットで\*採択され、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。ただSDGsを掲げるだけで物事が進むはずはありません。一番のきっかけは、同じ年の2015年にYouTubeで公開された、ウミガメの鼻に詰まったストロー片を取り除く動画の\*インパクトでした。

これを機に他にもウミガメがレジ袋をクラゲと間違えて飲み込み、喉を詰まらせてしまった映像なども注目されるようになりました。SNSの力が徐々に人々を動かし始めます。

そして、決定打となったのが、中国が2017年に主に生活由来のプラスチックゴミの輸入を禁止したことでした。これもきっかけはSNSによる動画配信でした。これまでお金になるからという理由で、アメリカ合衆国や日本などから大量のプラスチックゴミが中国へ輸出され処理されてきたわけですが、\*劣悪な労働環境下で処理されている様子が動画で拡散され、中国政府が動き始めたのです。

こうして行き場を失ったプラスチックゴミは、\*代替地として近隣の東南アジア諸国へと向かいます。しかしここでも処理する場所の確保が追いつかず、アメリカ合衆国やカナダが再生可能なプラスチックゴミと偽って持ち込もうとしていたことも判明し、海沿いや山中への不法投棄が目立つようになり、\*堪忍袋の緒が切れた東南アジア各国がゴミを返送するようになってきました。こうなると返送されたアメリカ合衆国やカナダはもちろんのこと日本も同じく自国でプラスチックゴミを処理しなければならなくなったのです。

先進国は環境規制が厳しいため、そもそもプラスチックゴミの処理場の確保が難しいのです。これまでプラスチックゴミは、\*有害廃棄物が国境を越えて移動することを制限する「バーゼル条約」の対象になっていませんでした。ただこのような状況から、ようやく2019年に

「バーゼル条約」が改正され、2012年からプラスチックゴミの

\*越境禁止が世界的に始まりました。

このようにして、日本もようやく動き始めたという\*経緯があります。自分がやりたくないことを他人に押しつけ、自分に跳ね返ってきてからはじめて動く……。やらないよりましかもしれませんが、そのような状況ではとてもSDGsの2030年の達成にはほど遠いことでしょう。

(宇野仙『SDGsは地理で学べ』より)

## 〔注〕

別途…別に。別の方法。

採択…選ぶとること。意見などを選んで採用すること。

インパクト…衝撃。

劣悪…ひどく悪いこと。

代替地…他のもので代えること。代わりになる場所。

堪忍袋の緒が切れる…我慢の限界になり、怒ること。

有害廃棄物…有害な捨てられたもの。

越境…国境をこえること。

経緯…いきさつ。これまでのすじ道。

私は静岡県立大学では、地元の高校生と一緒にいろいろなことを学ぶ「\*高大連携プログラム」にも関わっています。そしてこれも当然の流れとして、いまはSDGsがテーマとして選ばれやすい。高校側としては、世の中で注目されているテーマを掲げたほうが多くの生徒を集められますし、予算も取りやすいという事情もあるでしょう。プラゴミを分別収集すると国からの補助金が出るのと、ちよつと似ています。

しかし、大学生でも心配なのですから、もっと純粋な高校生となる<sup>しんちやう</sup>とさらに慎重にやらなければいけません。それこそプラスチックのリサイクルひとつ取っても、単純なキレイゴトの向こう側には複雑な「大人の事情」があります。若い正義感にブレーキをかけすぎてはいけません。が、アクセル全開になるのも危ない。SDGsと「ぼちぼち」つき合<sup>つきあ</sup>っていく感覚を高校生に伝えるのは簡単ではありませんが、少なくとも、そういうプログラムを設定する大人の側がそれなりの分別（こちらはブンベツではなくフンベツ）を持っておくべきだろうと思います。

ただ、少し意外だったのは、SDGsをテーマとする高大連携プログラムで、環境問題を選<sup>かんきやう</sup>ぶ高校生があまり多くなかったこと。世間では、SDGsといえは地球温暖化や海洋プラスチックの問題を思い浮かべる人が大半ですが、このプログラムでは\*ジェンダーや人権、貧困などの問題を選<sup>あつか</sup>ぶ人がほとんどでした。扱<sup>あつか</sup>う範囲の広い環境問題より、それらの社会問題のほうが、高校生にとっては身近に感じられるのかも

しれません。

もちろん、先ほど話したように、貧困問題にも京大生を\*哲学に向かわせてしまうような\*矛盾や\*葛藤があるので、「ぼちぼち」取り組むべきなのは同じでしょう。しかし環境問題は、SDGsの目標の中でも若者の正義感が\*先鋭化しやすいので、高校生にはとくに「取り扱<sup>あつか</sup>い注意」のテーマです。

問題意識が先鋭化して、「学問」や「勉強」が社会問題のようなものになっていくと、そもそも否定しにくいキレイゴトが、ますます自身にとって揺るぎない絶対的な価値を持つものになるでしょう。そうになると、勉強の対象だったものに、自分の生活が縛<sup>しば</sup>られてしまう。

\*極端な話、たとえば「脱プラスチック主義」が先鋭化すれば、レジ袋やストローはもちろん、あらゆるプラスチック製品の使用に\*嫌悪感を持つようになるかもしれません。

しかしプラスチックは現代の文明社会に欠かせないので、それをすべて排除しようと思ったら、ひどく不便で不経済な生活になってしまいます。正義感に燃える運動家は「サステナブル（持続可能）な世界にするためには仕方がない」と思<sup>がまん</sup>って我慢するかもしれませんが、そういう\*自己犠牲に満足感を覚えることもあるでしょう。でも、それは決してSDGsの方針に沿うものではありません。

というのも、国連の定義によれば、「持続可能な開発」とは「将来世代がその\*ニーズを満たせる能力を損なうことなしに、現代のニーズを

満たす開発」のこと。「サステナブル」という言葉を聞くと、現在よりも将来の世界を大事にするようなイメージを抱きがちですが、SDGsは未来のために「いま」を犠牲にしると言っているわけではありません。現在に生きる私たち自身のニーズを満たしながら、将来世代のニーズも満たしましょう、という話です。だからこそ難しいわけですが、「いまの自分」の生活を大事にすることも忘れてはいけません。

(酒井敏『カオスなSDGsグルッと回せばうんこ色』より)

## 〔注〕

高大連携プログラム：高校と大学が連携する取り組み。

ジェンダー：社会の中で、性別によって求められる役割や行動のこと。

哲学：ものごとの本質を研究する学問。

矛盾：つじつまが合わないこと。

葛藤：心の中で、選択に迷う状態。

先鋭化：過激になること。

極端：とてもかたよっていること。

嫌悪感：きらいなこと。

自己犠牲：ある目的のために自分の労力をかえりみないこと。

ニーズ：要求や需要のこと。

## 〔問題1〕

### 文章1

―線「自国でプラスチックゴミを処理しなければならなくなったのです」とありますが、なぜですか。四十字以内で答えなさい。(句読点や記号もそれぞれ字数に数えます。)

## 〔問題2〕

### 文章2

―線「サステナブル(持続可能)な世界にするためには仕方がない」とありますが、サステナブルな世界にしようとしてプラスチックの使用を我慢しすぎるとどうなりますか。そのことについて筆者の考えをまとめた次の文が完成するよ  
うに「  
」に四十字以内で、具体的に書かれた部分を探して書きなさい。(句読点や記号もそれぞれ字数に数えます。)

・現代社会に欠かせないプラスチックを排除しようとする  
ひどく不便で不経済な生活になり、「  
」なる  
かもしれない。

〔問題3〕

〔文章1〕と〔文章2〕のそれぞれの内容をふまえて、プラスチックゴミの問題を解決するためにあなたはどのようにすべきだと考えますか。

〔文章1〕と〔文章2〕のそれぞれの要点にふれながら、あなたの考えを四百字以上、四百四十字以内で適切にまとめなさい。

ただし、次の〔条件〕と〔きまり〕にしたがうこと。

〔条件〕 次の二段落構成にすること。

- ① 第一段落で〔文章1〕と〔文章2〕、それぞれの要点をまとめること。
- ② 第二段落で「①」をふまえ、プラスチックゴミの問題を解決するためにどうすべきか、あなたの考えと、そのように考えた根拠<sup>こんきよ</sup>・理由を書くこと。

〔きまり〕

- 題名は書きません。
- 最初の行から書き始めます。
- 各段落の最初の字は一字下げて書きます。
- 行がえは、段落をかえるときだけとします。
- 段落をかえたときの残りのます目は、字数として数えます。
- 最後の段落の残りのます目は、字数として数えません。



